しんしろ まちなか 散策マップ

しんしろ城下町の会

新城町と古い道

明治時代に入ると、まだ江戸時代の新城町を理解していた新宿の後輩、井原の「大道」が、まちなかを案内してくれました。

井原の「大道」が、まちなかを案内してくれました。

豆ばなし

新城市教育委員会
新城歴はなし
36ふぶき9引用

❗この日のあるお話には、昔ばなしのように伝えがあります。物語を見ながら、別のまちなか散策に出かけましょう。

新城むかしばなしは、新城図書館で借りることができます。

「みつぐぎぬき」(三好貫)の由来

昔、菅沼家の祖先に新八郎貞賢という大力の武士がいて、京都御番中に天皇の前に召し出され、その力をご覧に入れた。その時、厚い板に深々と打ち込まれている3本の大きな釘を一気に引き抜いて、大ぜいの人々の賞賛を浴びたという。首の釘の断面は、今の円形とは違った方形であったので、釘を抜いたあとには、三つの正方形の形がでていた。それを形どった菅沼家の家紋ができたと伝えられている。

その他の碑等

公宣桜碑

新城市はなし36ふぶき参照

丸山義郎像

きつまいもの略式接種を手掛けた高名人物。東京横江鹿子ようしており、地域の誇る偉大である。

魚の慰霊碑

お面様の慰霊碑

鳥獣慰霊碑

この場で共に暮らした鳥獣のための慰霊碑

慰霊碑

この地から、満蒙開拓団として移住し亡くなられた方々の慰霊碑

忠魂碑

この地から、戦争に出征し戦死された方々の慰霊碑

拓魂碑

この地から、満蒙開拓団として移住し亡くなられた方々の慰霊碑

桜淵石碑群

文字通り歌碑に古い石ばかりです。

山岡多比良歌碑

新城の有名歌人。昭和35年(1960年)永住寺の門にに最年長は88歳の天田雪写真が建てられた。その時には前妻(新城町役場の門柱のもう一方である

菅沼牧水歌碑

旅をしてあるかれば、ものもなく、ただ一人のみちを行くかな

牧水は、本名は信夫。若い頃は、「旅をしてあるかれば、ものもなく、ただ一人のみちを行くかな」と、旅の歌を多く残した。

文字通り歌碑

三川子子句碑

昭和中期頃の有名な二人の俳句の碑。この句は昭和24年(1949年)の碑であった。子が亡くなったあの、悲嘆の地、新城に碑の一句を祝の使うとしてこの句碑がつくられている。

田新城町役場

秋葉山常夜燈

常夜燈は火事から守るとなるための燈り明

- 37 吟鳴常夜燈
- 38 本町常夜燈
- 39 船倉常夜燈
- 40 東新町常夜燈
- 41 鳴鶴常夜燈
- 42 中町常夜燈
- 43 橋向常夜燈
- 44 橋向常夜燈
- 45 橋向常夜燈
- 46 橋島神社境内常夜燈
- 47 西新町常夜燈

鳴鶴常夜燈は、明治3年(1870年)に建立された。

橋向常夜燈は、明治7年(1874年)に建立された。

橋島神社境内常夜燈は、明治12年(1879年)に建立された。

西新町常夜燈は、明治時代に建立された。